

東浦町議会の意見について(東浦町議会全員協議会(平成 30 年 6 月 25 日開催))

1 基本計画部門別計画(案)について

意見内容
(1) 部門別計画案の個別の表現について ①P5 取組 3「母子保健の充実」の表現が P18「児童・母子・父子」と混同される恐れがないか。 ②P18 「児童・母子・父子」の目標に「子どもが大切にされる…」とあるが、現状では子どもが大切にされていないという誤解を招くのではないか。「子どもを見守り、支援する…」などの表現に改めてはどうか。 ③P20 「協働の進め方」の中の表現で「居場所の提供」と「居場所の設置(P26)」と類似した表現があるが、あえて表現を変えたのか、同じ意味でつかわれるのであれば統一すべきではないか。 ④P58 「協働の進め方」の中で「自助・互助・共助・公助」の表現があるが、住民の役割には互助に該当する表現がないので加えるべきではないか。 ⑤P64 「取組 2 防犯活動の充実」で最も重視すべきなのは、不審者を近寄らせないことと考えるので取組のなかに「挨拶が交わされることで不審者の近寄りにくい地域づくり」などの文言を加えられないか。 ⑥P77 「取組 1 幹線道路の整備」の中で、これまでに計画された道路について、計画自体の見直しを加えるべきではないか。加えるのであれば、その旨を行政の役割に追記してほしい。 ⑦P92 「事業者」、「事業所」といった言葉の定義を明確にすべき。 ⑧P93 住民・事業者・行政の役割が他の施策に比較して表現がわかりづらい。箇条書ではなく他の施策にあるような文章に改めるべき。 ⑨P106 目標に「互いに認め、」とあるが「互いに認め合い」としたほうが、より明確に意図が伝わるのではないか。取組 2 の実施内容の最初の表現がわかりづらいので、「多様な生き方の尊重である男女共同参画の意識づくりや様々な分野に働きかけるなどの啓発を行います。」としてはどうか。
(2) 部門別計画の全体の表現について ①「協働の進め方」の中の住民・事業者・行政の立場が並列の立場であるレイアウトにしてはどうか。「住民の役割」は言い切りの箇条書きではわかりづらいので、分り易い文章に改めるべきではないか。 ②関連計画・関連施策・用語解説が並んでいるが、用語解説は意味合いが違うので、分けた方がいいのではないか。 ③「目標」「現状」「課題」がそれぞれわかりにくい。「現状」と「目標(目指すべき姿)」のギャップが課題であり、ギャップを解消するための方策が取組ではないか。 ④「取組の成果指標」の 5 年後、20 年後が現在から 5 年後、20 年後に誤解されるので、西暦表記も加えた方がよい。 ⑤「目標」の表現について、「～に取り組みます」「～を推進します」というのは目標ではない。交通安全や防犯のように目標の表現をシンプルに分り易くすべきではないか。 ⑥目標の成果は何かということに拘って、成果指標を再検討してほしい。